

(4) ②様式第4号-2 (報告書)

※文字のフォント、大きさは Meiryo UI / 12ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

※写真は、進行プログラムに沿って適宜、右ページに簡単な説明文を添えて貼り付けてください。

※必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

NITS・教職大学院等	実施機関名・連携機関名 島根大学大学院教育学研究科・島根県教育委員会
コラボ研修プログラム	事業名： 学び続ける教師応援講習(2022) — 教員免許状更新講習の発展的解消後に向けた取り組み—
支援事業報告書	研修等名：【NITS・島根大学大学院教育学研究科コラボ研修】 学び続ける教師応援講習 開催日時：令和4年8月20日(土)～11月4日(金) 開催場所：島根大学（島根県松江市西川津町 1060） ※8月20日(土)の講習における YouTube Live 配信を上記の開催場所から行う。それ以外は DVD や配布資料の送付・返送による通信講習として実施する。 参加人数(総数)と参加者の属性:54人(学校教員 52人、教育委員会 1人、学校司書 1人)

内容： ※全体発表の内容をテブ起こしするなど、具体的に記載してください。研修等の様子は、写真を右に貼り付けてください。

実施した講習の内容一覧は右の票の通りである。各講習 6 時間前後で非対面による講習である。

1.「学習英文法の改善と教材開発」は、YouTube Live 視聴及び配布資料による講習である。一方的な講義にのみにならないようにするために、チャット投稿やフォームを使用することによって双方向のやり取りができるように実施した。動画視聴後、事後の感想の提出をもって受講の完了とした。

2.「言語・コミュニケーション発達の理論に基づいた障害がある子どもの指導の実際」、3.「算数科授業における対話的な学びのあり方とその実際」、4.「ゲームが変える学習支援—発達障がい児が楽しく学習するために—」、5.「学校という場を活かした子どものメンタルヘルス支援」、6.「小学校プログラミング教育のためのプログラミング講座(基本編)」、7.「国語科における語彙学習」は、DVD 視聴及び配布資料による講習である。それぞれ 4 週間弱の講習期間を設け、その間に動画を視聴し事後の感想の提出をもって受講の完了とした。

成果： ※参加者の声など客観的な情報・データとともに記入して下さい。

◆講習終了後のアンケートでは満足（「満足した」「だいたい満足した」と回答）した者の割合は 95%であった。

◆受講者の学びの一例は以下の通りであった。（受講者の事後アンケートより抜粋）

「非常に分かりやすく科学的に整理されており、講習内容の構成と展開も美しいものでした。指導方法には様々あるとは思いますが、どの指導法にするか決定する判断材料を得られました。」

「これまで自分の中にあつた固定観念のようなものに気づかされ、もっと今の生徒たちの実態に合った取り組みにシフトしていこうと思わせる内容でした。」

「免許更新講習が無くなりましたが、学び続けることは大切なので、時間が調整できるこの方法、興味のある内容、受講料無料というのは大変良かった。」

「自分の行っている授業が児童にとって主体的・対話的学びとなっているのか不安に思っていたのですが、本講義を受け自分の授業や対応に自信をもつことができました。」

このほかにも講習の内容、新たな教師の学びの姿の充実に関する記述や講習に対する感謝の言葉等、多岐にわたつた感想があつた。

アイデアや工夫したこと： ※3～5 つ程度の箇条書きしてください。

・免許状更新講習解消後の全国の教員の研修機会の確保、個別最適な学びの促進、研修の受講に伴う移動の負担の軽減、感染症の感染拡大が生じた場合における確実な研修の実施のために、全て非対面の通信教育型の講習を提供した。

・本講習を広く募集するために、当該講習の一覧や申込方法を記載したチラシを作成し、島根県および鳥取県の教育委員会において本研修の周知を行つて頂く。またこれに加えて、島根大学教育学部附属教師教育研究センター、附属学校園および教育学部が協働で運営する「山陰ティーチャーズ LINE」(登録者数 400 名以上)や島根大学教育学部附属教師教育研究センターのホームページ上でも同様に周知を行つた。併せて、NITS「新たな教師の学びのための検索システム」に掲載して頂き参加者を募つた。

<写真・図など> ※会場の熱気や規模がわかる写真、参加者の表情がわかる写真（寄って撮影またはトリミング）を撮影してください。

表 開講講習一覧

番号	講習実施期間	講習名	担当講師	講習の内容
1	YouTube Live 配信 8/20(土) am9:00～ 申込受付期間 (7/1～7/18)	学習英文法の 改善と教材開発	縄田 裕幸 島根大学教育学部 英語科教育専攻 教授	言語習得の観点から学習英文法の役割を確認し、英語学の知見もふまえながら従来の文法指導の課題とその改善策を検討します。その上で、文法知識をどのように授業に取り入れていけるかを教材作成の演習を通して考えます。
2	8/29～ 9/22 申込受付期間 (7/1～7/18)	言語・コミュニケーション発達 の理論に基づいた障害がある 子どもの指導の実際	樋口 和彦 広島修道大学 人文学部 教授	本講習では、まず、特別支援教育に活用できる理論として、健常児の言語・コミュニケーションに関する内容を理解を深め、次に、具体例の動画を視聴し、種々の障害の状況（発達障害から重度・重複障害の子どもまで）を分析し、学んだ理論の実際の指導への活用方法について検討します。
3	9/5～9/30 申込受付期間 (7/1～7/24)	算数科授業における 対話的な学びのあり 方とその実際	下村 岳人 島根大学教育学部 小学校教育専攻 講師	本講習では、算数科においてそのような対話を、どのように捉えていけばよいか、またどのように授業実践に結びつけていけばよいかについて概説します。
4	9/12～ 10/7 申込受付期間 (7/1～7/31)	ゲームが変える 学習支援 ー発達障がい児が楽しく 学習するためにー	縄手 雅彦 島根大学総合理工学部 機械・電気電子工学科 教授	本講習では、学習面で困難を生じる発達に障がいのある児童の教育や療育における支援への情報技術の活用について概説します。授業や個別学習などで活用が始まっている事例を紹介するとともに、実際の機器やシステム操作を体験します。
5	9/20～ 10/14 申込受付期間 (7/1～8/7)	学校という場を活かした 子どもの メンタルヘルス支援	伊藤 亜矢子 聖学院大学心理福祉学部 心理福祉学科 教授	メンタルヘルス支援の基本となる各発達段階の子どもの心の理解や支援について基礎的な知識を学び、学校での支援にどう応用するかなど、学校現場ならではの資源を活かした支援の基本を学びます。
6	9/27～ 10/21 申込受付期間 (7/1～8/15)	小学校プログラミング 教育のための プログラミング講座 (基本編)	橋爪 一治 島根大学 教職大学院 教授	まず、小学校のプログラミング教育について、その目的や趣旨を理解し、重要性を納得していただきます。次に、何を参考に学ばよいかを知るとともに、具体的な方法など先行事例を参照しながら学びます。さらに、実践的・体験的な指導ができるよう、プログラミングそのものを学びます。最後に、教育課程の内外での授業等におけるプログラミング教育の在り方を検討します。
7	10/11～ 11/4 申込受付期間 (7/1～8/28)	国語科における 語彙学習	富安 慎吾 島根大学教育学部 小学校教育専攻 准教授	この講習では「語彙学習」について、「語彙が増えるとはどういうことか」という地点に立ち返りながら、理論に基づいて学習を支援する方法について考えていきます。語彙の習得において、読書がどのような役割を果たしているのか、辞書を語彙の学習に生かすにはどうすればよいか、などの内容について、小学校・中学校対象に説明します。

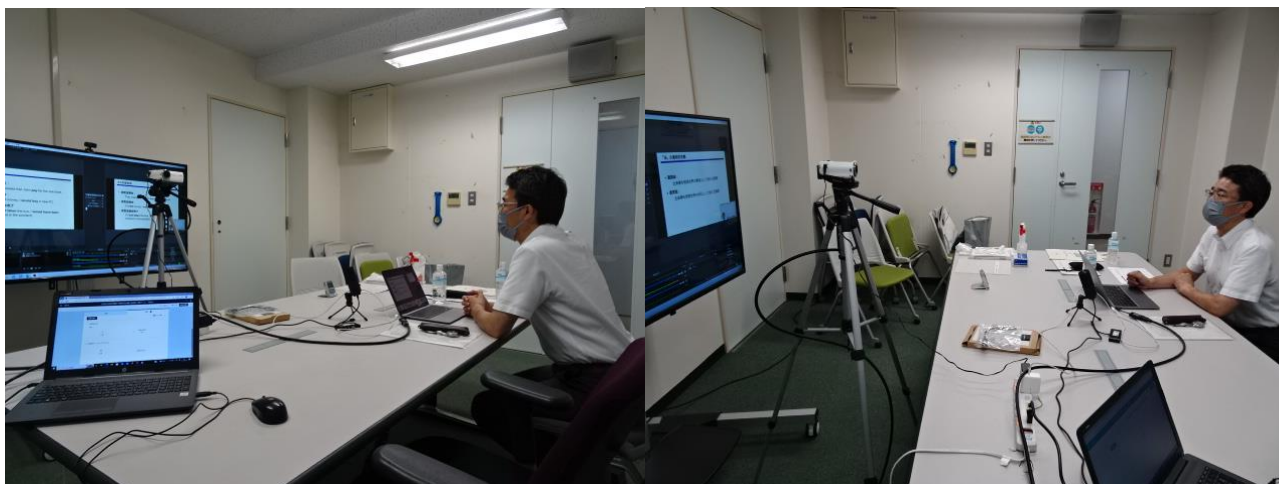


図 YouTube Live 配信による講習（学習英文法の改善と教材開発）の様子